

採れたて!!

# わかごぼうのニュース

No.37

発行 2017年4月  
八尾市パーソナルサポートセンター  
大阪府八尾市本町1-4-1-201  
TEL:072-999-7900

## こういう時にまさか起こる

何かの化学的な実験をしてみたいということで「高濃度にした水溶性片栗粉を入れた水風船を壁に向かって全力で投げるとどうなるのか?」について実験してみました。参加者の予想は次の通りです。

### ○割れる派

・少しは空気が中に入る前提で考える。壁にぶつかると、片栗粉水風船ともに円盤型になると思うが、片栗粉はダイラタンシー効果で広がりにくいと思う。  
しかし、風船はそれよりも広がると思うので、割れるのではないかと予想する。

### ○割れない派

・風船の中に水が入っているのにぶつけても衝撃を吸収して割れない。  
・高密度の水溶性片栗粉はスーパールのように壁にぶつかると跳ね返るのでガラスに注意する。

### ○実験結果?

「やばい。割りばし折れそう。」  
「なかなか混ぜ合わせられない。」  
「力入れたらアカン。ゆっくり底から拗るようにして。力入れると固まるから。」  
「片栗粉を混ぜるだけでも大変です。」  
「これさあ、水風船に入る?」  
「ポンプを押し込んだ段階で固まる。」  
「こうなったら口に含んでプーって押し込む?」「人力ポンプ?」  
「いや無理やる。漏斗を使えば?」  
「あ…。漏斗の先に一定の圧力がかかって、永久に入らない。」  
「これ、水風船作る自体がもう…すまんせん。」

・内容量にもよるが基本的に壁に投げつけると水風船のゴムは割れる。でも割れても中身の片栗粉はある程度固まったまま落ちる。で、掃除が大変になる。  
・水風船は片栗粉が入っていないと水風船なので割れる。



「いろいろ、仮説は出たけど実証の方法がないという結果に…。」  
まさか、水風船に片栗粉を入れる段階でダイラタンシー効果が発揮されるとは思いませんでした。

前提条件の軽視は始まる前から終りを招く



ですよね～

## わかごぼうは

### 失敗できる場所

家とは違う場所へ出かけた。でもいきなりは不安。お話できなくても一緒に過ごしてみよう。失敗しても構いません。そこからたくさんのことを学べるから。

## 自分の名刺を作ってみよう

新年度のイメージという事で名刺交換でもしてみよう。パソコンで名刺のデザインをしてみました。が、名前だけだと味気ないのである参加者の閃きで「勝手に肩書きをつけてみよう」という事になりました。しかし、肩書きがなんなのかよくわからず、結局その人らしさが伝わればなんでもいいかということになりました。

名刺のデザインというよりは…

キャッチコピー - 発勝負!

50番目の人 輪家ごぼ夫

九州生まれの大阪人 輪家ごぼ夫

27年新人 輪家ごぼ夫

ヘタレオタク 輪家ごぼ夫

## 八尾市社会的居場所事業 わかごぼうに

来ませんか?

### ☆参加対象になる方

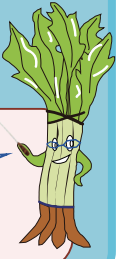
「自分なりの社会参加の実現を考えたい」と望まれる方で次のうちひとつでも当てはまる方  
◇6ヶ月程度、就労や訓練・試験勉強等から遠ざかっている自分を変えたい方  
◇少人数の会話から話すことに慣れて自信を持ちたい方  
◇行動範囲を広げるきっかけや家族以外の人と接点を持ちたいと望まれる方  
※また、家族・親族のことでお悩みの方もご相談いただけます。(ご予約下さい。)



開催時間：毎週木曜日13:00-15:00  
開催場所：わかごぼう  
八尾市南本町7-6-23  
※JR八尾駅から徒歩15分なので自転車推奨

お問い合わせ & 参加申込み  
電話：072-992-6921  
✉ : wakagobou@yaops.jp  
電話受付時間：10:00-17:00 (祝日除く月～金)

自分のペースで参加できます。



ウニもめるよ

# 脳内イメージでも案外できる

自分がやりたい事と聞かれて深く考えて絞り出して浮かんできたのが竹とんぼ。何故、このアイデアが浮かんだのか？はつきり言って思いつき。それがまさかの採用になった。そうなる、作り方を問われる。形を見たことはあるが、作ったことはない。頭が真っ白になりながらも「完成するイメージはこんな形なのか？」と完全脳内イメージで再現することにした。

竹は伐採して入手の予定だったが、廃材をもらえたのでラッキーだった。問題はようやく小分けするか。竹の先端がびび割れていたので思い切った指で割って見たらいい。

「おぉー力あるな。」「ない。これぐらいしか干切れないから。」次に持参したデザインナイフと画鋸を使って竹の欠片を加工した。「どれくらい穴開けたらいいの？」「ずれてる。もう少し真ん中に寄せないと。」最初は棒も一から作るうと思っただけ途中で断念した。「軍手して作業してるって職人さんやなあ。」こういう没頭できる作業は好きだと思っ。本物の職人さんには程遠いけど。繰り返し削り続けて、ようやく竹とんぼらしい形が出来上がった。飛ばしてみたら「うーん、すぐ落ちるなあ。重さかな？」いや、バランスやと思う。「物を作る時は集中出来るが、器用さよりも力任せにやってしまふ。竹全体を薄くしてバランスを取るのには本当に苦労した。でも、何度か調整していると「ん？飛んだ？飛んだ飛んだ。」「飛んでるやん。」いつの間にか九十分も経っていた。記念に竹とんぼは持って帰りました。



大阪狭山市で開催された講演会に、あの山奥二ートのみなさんが来られるという事で希望者を選抜して参加してきました。

講演会が始まるとまずは山奥二トを紹介する映像が流されました。

当事者がゲームをしたり、狩猟の資格を取って、鹿を黙々と捌いていたのが印象に残っています。次に当事者の話を聞きました。「何が変わったのか？」という質問に山奥二トの当事者が人とふれあうことが少しだけできるようになったと答えていました。それについてはよかったです。

ただ、根本的な解決にはなっていないように感じました。理由は履歴書に書けなくて社会復帰が難しいからです。あと、当事者の方もそれぞれ認識が違って、一人はここで生活しながら社会に出ようと頑張っている人で、あとの二人は恐らく、ここで生活することを選んだ人なのだと思います。

# わかごぼうニュース編集

わかごぼうでは、毎月参加者が企画した活動内容を参加者自身でコンテンツにしたニュースを編集して発信しています。



是非次号もご覧ください

# これからの生き方を考えたいから



山奥に居場所を見つけて限界集落を元気にしよう、いい人の様に紹介してたけど、たまに働いてるとはいえ、僕は周りの人の助けで二トができていますように思いました。

山奥に暮らしてネット配信し家で引きこもっている人を山奥に来て暮らすよう誘っていたけれども山奥に暮らしてどうとかなる訳じゃないので「ただの仲間集めでは？」と思いました。

山奥二トに批判的な僕が唯一賛同できたのは座談会で「二トが増えているのは働いている大人たちのせい。働いている人たちが楽しくなさそう。夢や希望を与えられていない。」みたいなことを言っていたことです。確かに僕を含め大人たちは働くのに必死で、そういうのができていないので次世代の子たちに二トが増えないよう楽しく働いて、夢や希望を与えられる大人になりたいと思いました。あと講演会に参加して一番に思ったのは「今」を楽しむ二トが幸せなのか、「将来」を楽しむために働いている人が幸せなのか、今の日本ではどっちの人間の暮らしが幸せなのか？人生の選択は難しいなっています。

# はじめての農園部に参加して

今月から新たに畑デビューした参加者。最初に取り組むのが早朝清掃だったので大丈夫かと心配しましたが誰よりも早く畑にやってきました。なんとも心強いです。農作業をやってみての感想を聞いてみました。



朝早くに行われた早朝清掃。「ただ草むしりをするのでは？」と浅はかな考え方をしていた私ですが一緒に清掃している先輩方に「雑草をむしり取ってただ一ヶ所に集めるのではなく、むしり取った雑草についている土を払い落として一ヶ所に集めること」を教わりました。「二つの作業をするにもやり方がたくさんある」ことを痛感しました。たぶん私はこれからもこういう経験をしたいと思います。誰かに教わることも自分で学ぶこと。その一歩をこの畑に踏み出したと思います。別の日に、農園で畝の改良を先輩と二人で行いました。天地返しの手順を見ながら、ほぼ見様真似でしたが、補助をして鳥害にあつた白菜を畝の中へ埋めました。初の農園活動をやってみてやりがいや実感が少しづつ湧き次に繋がるきっかけを作る事が出来て良かったと思います。

# わかごぼう

来月はすくすく育ってほしい願いを込めて「農作物観察日記」、今のうちにしっかりと基礎をマスターしたい「エクセル練習」、目指せ！一発合格「資格試験対策部」、名前は同じでもちよつと違う「ちまき作り二種」などが予定されています。他にもそれぞれの「連休の過ごし方」やボランティア活動もありますよ。

行きたい時が参加時。最初の半歩がここにある。八尾市社会的居場所事業わかごぼう新規参加者募集中です。

